



2022年度 町田第二地区 市政懇談会

次 第

[日時] 2022年10月11日 (火) 18:30~20:00

[場所] 町田市庁舎 会議室3-1

司会進行： 市民協働推進担当部長 大貫 一夫
町田第二地区町内会・自治会連合会 副会長 藤川 孝之

○ 連合会長の挨拶

町田第二地区町内会・自治会連合会 会長 中 一登

○ 市長の挨拶

町田市長 石坂 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 バス停への屋根の設置について

【都市づくり部】

2 地域のやりたいことや困りごとの相談について

【市民部】 【地域福祉部】

3 町田第二地区の公共施設跡地の活用について

【政策経営部】

4 公園の整備について

【都市づくり部】

5 町田薬師池公園四季彩の杜の渋滞対策について

【道路部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 町田第二地区町内会・自治会連合会 副会長 西山 忍

2022年度 町田第二地区 市政懇談会
議事録(要旨)

[日 時] 2022年10月11日(火) 18:30～20:00

[場 所] 町田市庁舎3階 会議室3-1

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

政策経営部長 神蔵 重徳

地域福祉部長 中村 哲也

道路部長 萩野 功一

都市づくり部長 窪田 高博

都市づくり部都市整備担当部長 平本 一徳

市民部市民協働推進担当部長 大貫 一夫

町田第二地区町内会・自治会連合会長 ほか14名

事務局 市民部市民協働推進課(5名)

司会進行：市民協働推進担当部長

町田第二地区町内会・自治会連合会副会長

- 町田第二地区町内会・自治会連合会長の挨拶
- 市長の挨拶
- 職員の紹介
- 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 バス停への屋根の設置について

町田第二地区では路線バスが重要な公共交通機関です。例えばサン町田旭体育館前のバス停は体育館来場者に加え、旭町3丁目、中町4丁目の多くの住民が利用していますが、体育館前のバス停には屋根がありません。このように利用者が多いにも関わらず屋根のないバス停は多く、雨天時のバスの乗降や猛暑日でバスを待つのに不便を感じています。

バス停へ屋根の設置を要望するときの流れを教えてください。

【回答】

都市づくり部長

バス停の上屋は、バス事業者が設置及び管理しております。

上屋の設置については、バス事業者又は市にご要望をいただければ、各種条件を踏まえながら設置の可否を両者にて検討いたします。

上屋を設置するバス停は、バス停の利用者数や利用者からの要望などを踏まえ、歩道の幅員が3メートル以上であること、計画道路の予定がないこと、埋設物に支障がないことなどの条件を満たす箇所について、バス事業者と市で協議の上、決定しております。

市では、上屋の設置に係る費用の2分の1を、補助金としてバス事業者に交付するとともに、上屋設置に際して必要な、植栽撤去等の道路改修を行うなど、バス事業者の設置を後押ししております。

補助金の制度は2013年度に開始し、これまで9箇所のバス停に上屋を設置してきており、2022年度は1箇所の設置を予定しております。

《質疑》

(司会) グランリビオ町田ガーデンコート自治会

町田市に要望をする時は、都市づくり部でよろしいですか。

都市づくり部長

都市づくり部に交通事業推進課という課がございますので、こちらにお電話などいただければ受付いたします。

(司会) グランリビオ町田ガーデンコート自治会

バス会社は神奈中になりますので、神奈中にも一回連絡をいたしまして承りますという話でした。それだけでしたが要望を出したということになるのでしょうか。

都市づくり部長

例えば今お話しがありましたサン町田の体育館前だと神奈中になりますので、そちらに直接お電話などしていただければ、バス事業者として承っているということになります。

その後、事業者と町田市とでその場所に対しての検討をしてみますので、神奈中にご連絡していただいても受付をしております。

地区連合会長

今回既に電話をしているということですが、その連絡は市に入っているのですか。

先ほどお電話でもいいとお話されましたが、話を受けたところで神奈中と相談をされていくのでしょうか。聞く耳は持つけれど実行されないとなると不信感を抱きますので、ご検討をよろしくお願いします。

都市づくり部長

今回の件や、今までご要望をいただいているものがあると思いますので、バス事業者ともう一度しっかり共有をして、その結果についてもお答えするようにいたします。

(司会) グランリビオ町田ガーデンコート自治会

今度モノレールが入ってくる道路拡幅予定地にもなっています。できないのであれば、その理由をはっきりと言っただけならば住民の方は納得すると思います。地下に何か埋設物があるかもしれませんので、そのあたりをはっきりすれば住民の方も理解していただけるのではないかと思います。また相談いたしますのでよろしくをお願いします。

2 地域のやりたいことや困りごとの相談について

現在の町内会・自治会の会員は「会員でいてもメリットがない」という人が多く、地域に目を向けていないように感じます。会員数は減少し、イベントなど地域のやりたいことが実現しにくくなっています。また困りごとを抱えている方も増えています。そのような実情を相談したいのですが、「地域ホッとプラン」では地域のやりたいことや困りごとに対しどのように取り組んでいくのでしょうか。

【回答】

市民部市民協働推進担当部長

まず、地域のやりたいことについて、お答えいたします。

「町田市地域ホッとプラン」を策定するにあたりご協力いただきました、地域活動の現状を把握するための地区協議会へのヒアリングや地区別懇談会においても、「町内会・自治会の会員減少などにより、地域でやりたいことが実現できない」といったご意見をいただいております、重要な課題として認識しております。

この課題を解決するために、2022年3月に策定した「町田市地域ホッとプラン」では、先導的な役割を果たすリーディングプロジェクトのまず一つ目として『地域の「やりたい」をかなえつづけるプロジェクト』を掲げております。

この主な取組として、町内会・自治会から相談を受けたやりたいことを実現するために、一緒にやりたいという仲間を募り、対話を通じてアイデアを生み出す、いわば「地域の作戦本部」を立ち上げるものでございます。

地域福祉部長

次に地域における困りごとについて、お答えいたします。

地域では、町内会・自治会の会員減少や役員のなりて不足による活動縮小など、地域コミュニティの希薄化と相まって、8050問題やダブルケア、ひきこもり、DVなど、困りごとを抱える人が誰にも相談できずに孤立し、問題の早期発見が難しくなっています。

こうした困りごとを抱える方を早期に適切な相談支援機関につなげ、必要な支援を迅速に届けることができるよう、「町田市地域ホッとプラン」では、リーディングプロジェクトの2つ目として「困りごとをなくそうプロジェクト」を掲げております。

この主な取組として、地域福祉の専門職である「地域福祉コーディネーター」を地域に配置することを予定しております。このコーディネーターは、地域の潜在的な相談者の情報を収集し、本人と直接対面したり、継続的な関わりを持つことで、適切な支援機関につなげます。

また、既存の公的支援では解決が図れない場合もございます。こうした場合は、このコーディネーターがNPO法人などの地域団体等と協働し、一人ひとりの状況に応じた支援を行います。

なお、このコーディネーターは、2023年1月に相原地区及び小山地区の2地区をモデル地区として担当を配置し、2025年度末までに市内10地区に段階的に配置する予定でございます。

《質疑》

(司会) グランリビオ町田ガーデンコート自治会

一点よろしいでしょうか。実は今第二地区でも高齢化の問題で、自治会の役員を引き受ける人がいなくて休会になっている自治会もあります。そういう自治会ですと、困りごとがあってもなかなかつながりにくいと思うので、できればそういった現状を市でも把握して、早く手を打っていただけるといいと思っています。高齢化すると役員の引き受け手がなくなりますので、そのあたりの対応を何か考えていただきたいです。何かありますか。

市民部市民協働推進担当部長

先程映像で流れましたが、市民協働推進課では地域の仲間を増やし、地域の困りごとを解決する寄り合いを開催しております。これは、地域の困りごとを解決するために、隣近所など地域の方をお誘いして、知恵を持ち寄り、対話を通じて課題をあげてもらいながら共感した仲間同士で自分のできることを見つけ、困りごとなどを解決していくものでございます。

また、市庁舎2階では、町内会・自治会に加入していない方も含め、地域の困りごとなどの相談を受け付けておりますので、ご紹介いただければと思います。

今日お配りした資料の中に、地域市民相談室のご案内があります。町田第二地区は市役所がメインの相談場所になりますが、各市民センター周辺にお住いの方は市役所に来るのが大変だと思うので、各市民センターでお話を伺うことをしております。そのことを会員の皆様にもお伝えいただければと思います。

3 町田第二地区の公共施設跡地の活用について

公共施設再編により2030年度までに保健所中町庁舎は現在の健康福祉会館の場所へ集約され、保健所中町庁舎がある場所は更地になるかと思いません。町田消防署跡地は2022年3月末までは町田第一中学校の改築工事に伴い、学校の代替グラウンドとして利用されていましたがその後は利用されていないように見受けられます。

保健所中町庁舎の跡地、町田消防署跡地の活用の予定についてお聞かせください。

【回答】

政策経営部長

保健所中町庁舎、及び町田消防署跡地の活用の予定について、お答えいたします。

初めに、保健所中町庁舎の跡地活用の予定についてでございますが、保健所中町庁舎が位置する区画には、「保健所中町庁舎」に加え「さるびあ図書館」、「子ども発達センター」（旧すみれ会館）の3つの公共施設がございます。

今年、2022年3月に『町田市町田駅周辺公共施設再編構想』を策定し、「保健所中町庁舎」のある区画の3つの施設につきましても、再編をプロジェクト化し、構想に位置づけました。

まずは、3つの施設の再編に向けた検討状況について、順に説明させていただき、その後に跡地活用についてお話しさせていただきます。

一つ目は、区画の中央に位置する「さるびあ図書館」についてですが、2026年度まで「中央図書館」との集約を検討するとしており、具体的な検討は教育委員会が主体となって行っております。

その検討にあたりましては、地域の皆様から、これまでの「さるびあ図書館」に対する思いや、これからの「さるびあ図書館」についての考えなどのご意見を伺っております。

引き続き、皆様からのご意見を伺いながら、この地域に必要な機能は何かを見極めつつ、図書館の集約について検討を進めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

二つ目は、区画の南西側に位置する「保健所中町庁舎」についてですが、只今、（会長から）お話しいただきましたとおり、現在の「健康福祉会館」の場

所へ2030年度に集約することを、一旦お示しいたしましたが、その後、児童福祉法等の改正があり、再編構想でお示した内容を見直しております。

法改正の主な内容として、「健康福祉会館」で提供している、妊産婦の相談機能や乳幼児の健診などの母子保健の機能と、本庁舎の「子ども家庭支援センター」などが担っている子育て支援に関する機能を併せ持つ「こども家庭センター」の市町村における設置が、努力義務化されました。

また、この「こども家庭センター」は、他にも、不登校・いじめ相談や障がい児支援など、町田市でいうと、教育センターや子ども発達センターなどでございますが、そうした機能とも連携を図るよう国から示されています。

そこで、町田市では、この「こども家庭センター」に相当する機能を、境川団地地区にある「教育センター」（旧忠生第四小学校）に建設を予定している新たな複合施設に集約することを考えております。

この様に「健康福祉会館」から母子保健機能を移転させることから、「健康福祉会館」と「保健所中町庁舎」の集約についても見直しが必要となりました。

まずは、2年後の2024年度に予定している集約する施設の『整備基本計画』の策定に向けて、引き続き検討を進めてまいります。

三つ目は、区画の北東に位置する「子ども発達センター」（旧すみれ会館）についてですが、先ほど申し上げましたとおり、「子ども発達センター」も子育て支援に関する機能の一つとして、境川団地地区の「教育センター」に建設を予定している新たな複合施設へ移転します。

新たな複合施設のオープンは2028年度を予定しております。

この新たな複合施設は、幼児期から学齢期まで切れ目のない子育て支援を提供できる拠点を目指しており、今年度末に予定している、新たな複合施設の『整備基本計画』の策定に向けて、関係者との協議や検討を進めております。

これまで、既存施設の再編に向けた検討状況についてお話しさせていただきました。

再編後の跡地活用につきましては、「さるびあ図書館」は集約の方向性が出るのが2026年度で、跡地活用ができる時期は未定です。そして、「子ども発達センター」が跡地となるのは2028年度以降、「保健所中町庁舎」は2030年度以降となりますので、区画全体を一体利用することも含め、跡地活用の具体的な内容は、これから検討してまいります。

現時点における町田駅周辺の跡地活用の考え方といたしましては、多摩都市モノレールの延伸事業や小田急町田駅周辺地区整備事業など、新たなまちづくりにおいて必要な機能を配置する場として、エリアのさらなる魅力向上につなげていきたいと考えております。

次に、「町田消防署」の跡地活用の予定についてでございますが、暫定利用となりますが、先ほど、申し上げました「健康福祉会館」と「保健所中町庁舎」を集約する場合の仮設の事務用地としての活用を検討しております。また、

東京都からも用地を借用したい旨の相談を受けております。

「保健所中町庁舎」、及び「町田消防署」の跡地のどちらにつきましても、町田駅周辺での数少ない市有地ですので、こういった活用が効果的なのか、さまざまな可能性について検討を進めてまいります。

《質疑》

中町中央町内会

中町中央町内会のエリアには公園が一つもありません。児童公園すらありません。是非あの広い土地に児童公園だけでなく、公園ができれば一番ありがたいです。シバヒロもありますがあれば公園ではないので勝手には使えません。中町中央町内会は、意外と子どもが多いです。それなのに児童公園がありません。是非あのようなスペースがあるので、児童公園を作っていただきたいと思います。

政策経営部長

跡地利用については、これから地域の皆様と話し合いを進めていきながら考えていきます。今お話いただきました公園もご要望の一つとして承っておきますので、引き続きよろしくお願いたします。

中町中央町内会

市長に先日、私たちの町内会館に来ていただきまして、また同じような要望になります。今映していただいていた地図に3つの施設の説明がありました。さるびあ図書館と保健所の間に中町中央町内会館があります。我々の会館もどうなるのかという当事者問題を抱えております。今3つの施設の集約などいろいろありますが、一番強い要望はこのさるびあ図書館をなんとでも残していただきたいです。そこの3つの施設が移転されるということですが、さるびあ図書館だけは新しくその場所に作っていただけないか。青少年健全の委員会でもお話ししましたが、本当に全国に誇れるような、例えば子ども図書館というような特性を持たせた図書館を作って町田市をアピールするということも考えられます。せつかくなら、複合施設としていろいろな機能を持たせた公共施設そういうことも検討していただきたい。中央図書館への集約が決まったという情報が流れておりますので、そうではなくて、何とかその機能を残していただきたいと強く要望したいと思います。

政策経営部長

さるびあ図書館につきましては、今教育委員会で地域の方とお話していると聞いております。その中に子ども図書館のお話も伺っております。先ほどもお話しいたしましたが、地域でどんな機能が必要なのか、お話しいただきまし

たような全国にアピールできるような施設を作っていくのか、モニュメントのようなものも必要なのかもしれませんが。そういったお話をこれから地域の方としていきたいと思えます。いろいろな方が集まれる場所が欲しいですとか、ちょっと何かに特化したものが欲しいですとかというのは、いろいろな機能や要素の中で、これから議論をしていくことだと思っております。引き続きそういった意見を寄せていただき、皆様の知恵をいただきたいと思えますので、是非よろしくお願いいたします。

アールヴェール町田森野自治会

今ご質問ありましたさるびあ図書館の件ですが、前々からなくなるという話を聞いていましたが、今の段階では方向性検討ということですよ。そこから必ずなくなるということではないですよ。集約の方向ということが考えられていますけども、まだ決まったわけではなくて、残る可能性はあるということですよ。

政策経営部長

中央図書館とさるびあ図書館。図書館の機能としては、アーカイブ機能など色々な資料を保存していかなくてはならないということはあるんですが、この近接した所に本当に2つ図書館が必要なのかという議論はあると思えますし、さるびあ図書館自体の建物として、建築物としての老朽化というものがあります。機能として何が必要なのか、図書の貸出機能が必要なのか、本が読め、人が集まれる空間が欲しいのか、何が必要なのかということは議論していくことであり、さるびあ図書館自体をそのまま残すという議論ではないことをご理解いただきたいです。

アールヴェール町田森野自治会

その機能をどこに置くかは別として、ただ地域的に考えると今は駅の向こう側に中央図書館があります。先日さるびあ図書館の館長にお会いして、一回お話がしたいという話になりました。先日役員会を行って、役員が10名いるのですが、使っている方がどのくらいいるのか聞きました。常時使っていない人の方が多かったのですが、やはりお子さんがいらっしゃる方は使っているということで、3年くらい前に存続の署名を行いました。やはりこういう施設が大切ですので、長く使えるものにされた方がいいと思えます。

政策経営部長

今お話しいただきましたように、先ほどもお話があったように、子どもに特化した図書館を作ってほしいなどのご要望はいただいておりますので、今後、検討していくところです。ただし、その機能をどこに置くのかというこ

とにつきましては、ここがベストなのか、他にもっと良い場所があるかもしれない、公共施設は学校など色々施設があるので、複合化・多機能化を含めて検討する必要がある、必ずさるびあ図書館の後に子ども図書館を作るという決定はしておりません。可能性として、もっと駅に近いところがいい、もっと学校の近くがいいといろいろな考え方があると思いますので、それはこれから決めていきます。現在、ここのさるびあ図書館の場所に新たな図書に関する施設を含め、施設を作ることも決めていないことをご理解いただきたいです。

4 公園の整備について

(1) 都市計画道路3・3・36号線の工事に伴い、閉鎖された公園について

町田都市計画道路3・3・36号線の橋梁区間の工事に伴い、町田ひまわり児童遊園が閉鎖されておりますが、再度利用できるようになる時期等、今後の見通しをお聞かせください。

(2) 公園の遊具の整備について

森野三丁目には古くから児童遊園があり多くの方が利用しておりますが、8月に雲梯が撤去されたということがありました。公園の遊具が撤去される一方、新たに設置される遊具はありません。

公園の遊具設置について市の考えをお聞かせください。

【回答】

都市づくり部都市整備担当部長

(1) 本町田ひまわり児童遊園の開園についてお答えいたします。

本町田ひまわり児童遊園におきましては、町田都市計画道路3・3・36号線の橋梁工事に伴い2016年より閉鎖をさせていただいております。

再度利用できるようになる時期につきましては、東京都と調整中でございます。

遊具などの公園施設につきましては、計画案を、事前に皆様にご提示させていただき、2024年4月から開園することを目指してまいります。

(2) 公園の遊具の整備についてお答えいたします。

公園遊具については、「町田市公園施設点検マニュアル」に基づき「定期点検」を毎年行っております。

森野三丁目児童遊園の雲梯の撤去についてですが、点検の結果、「経年劣化による使用禁止の判定」が出たため、利用者の安全の確保を優先し、緊急で撤去いたしました。

また、新たに設置される遊具については、新設公園では、住民の皆様のご意見を参考に「町田市公園緑地設置技術基準」に基づき設置しており、既設公園では、「町田市公園施設長寿命化計画」に基づき遊具等の修繕及び交換を行っております。

森野三丁目児童遊園の雲梯の設置については、2024年度に予定しております。

今後も、公園遊具の維持管理については、利用者の安全を最優先に取り組んでまいります。

《質疑》

森野三丁目自治会

雲梯の設置は、2024年という回答だったのでありがたいのですが、既にシーソーやブランコなどいくつかの遊具が撤去されたり、ジャングルジムが撤去されたりしています。それも老朽化なのか、シーソーは近隣の迷惑になるという話を聞いたことがあります。そういう場所に今新しい遊具を設置する計画はないのでしょうか。

都市づくり部都市整備担当部長

昔から我々が遊んでいたような遊具は、危険を伴うというところがあります。二人乗りの揺れる籠のような遊具で立ち乗りをしたりして、思い切り漕いで吹っ飛ばされるといような大きな事故があるなど、危険なことがあったので、そういうものについては少し見直しを行おうと撤去しております。今後、既存の雲梯や、安全が確保できるような遊具については、周辺の皆様のご意見を聞きながら設置していきたいと思っております。

森野三丁目自治会

健康器具のようなものが設置してある広場は児童公園にできないのでしょうか。

都市づくり部都市整備担当部長

新たな公園を設置する場合には、そういうご意見をいただいて設置する場合があります。既存の公園は、今のところ既存の施設の安全を確保しながら、老朽化したものは取り替えていくという計画のため、老朽化したものを再設置するようなときにご意見を伺って検討したいと思っております。

5 町田薬師池公園四季彩の杜の渋滞対策について

かねてより、鎌倉街道薬師池公園付近はバスによる交通渋滞がありましたが、ウェルカムゲートのバスベイ整備工事により現在は渋滞が緩和されました。

今後、イベント開催などにより車で来場する方も増え、さらなる渋滞が見込まれますが、今後の渋滞対策についてお聞かせください。

【回答】

道路部長

町田薬師池公園四季彩の杜周辺の鎌倉街道では、現在、春秋の行楽シーズンや土日の夕方等に交通渋滞が発生していると認識しております。

渋滞に対する根本的な対策としましては、鎌倉街道の拡幅になります。現在、鎌倉街道につきましては、東京都が今井谷戸交差点から新袋橋手前のガソリンスタンド付近の交差点までの区間で、道路幅員を25mに拡幅するための事業を進めております。

この内、今井谷戸交差点から薬師中学校北側の薬師池交差点までの740m区間を薬師池Ⅰ期事業区間として、現在用地取得を進めており、2022年4月1日時点の用地取得率は47%と伺っております。

その先の薬師池交差点から新袋橋手前のガソリンスタンド付近までの915m区間を薬師池Ⅱ期事業区間とし、2022年4月1日時点の用地取得率は28%と伺っております。

完成にはまだ時間がかかる状況ではありますが、引き続き、早期完成を目指して事業を進めていただけるように、東京都に対して要請してまいります。

それ以外の渋滞対策としましては、鎌倉街道の拡幅完了までには時間を要するため、交通の円滑化も踏まえて、まず2018年度に、「薬師ヶ丘バス停」に連節バス対応のバスベイを設置いたしました。

また、昨年度から新たなバス停として工事を進めておりましたウェルカムゲート前の「四季彩の杜西園前バス停」には、連節バス対応のバスベイが今月完成し、今度の日曜日の10月16日のバス運行ダイヤ改正に合わせてバス停の利用を開始いたします。

これにより、より多くの方に来園して頂くことを期待すると共に、バス乗降時におきましては、交通の流れを阻害することなく、円滑な交通の流れを確保してまいります。

更に、春のぼたん、えびねの開花時期をはじめとした混雑が想定される、四季彩の杜のイベント開催時には、交通整理員を配置し、駐車場待ちの防止、来園車両に対する適切な誘導等を行い、交通渋滞緩和に努めております。

《質疑》

本町田町内会

私どもの町内会・自治会で取り上げていまして、ここは非常に地元の声を聞いております。

先ほどご説明にあったように、鎌倉街道の拡張工事につきまして、かなり前から計画が進められていました。今日は初めてその計画の進捗状況を聞いて、用地確保が47%、28%と非常に低い値だと思いました。今地元の声として何を言われているかということ、今の時代我々の年代が70代になって、そこから先まだ10年、20年となると世代が交代してしまいます。そのため、できるだけ早い段階にこの用地を持っている人たちに対して、やはり不安となることを解消してほしいという声が出ています。これを早めていただく方策というのがあるのかどうかもう一度お聞きしたいと思います。

それと、このバスベイを設置し渋滞緩和されるということで非常にありがたいです。

道路部長

事業を早める方策ということでしたが、なかなか難しい面もありますが、やはり一番時間がかかっているのは沿道の用地取得です。いかに沿道の方がご協力いただけるかということが重要です。もう一点あるとしたら予算の話です。東京都としても、I期の部分は2013年から、事業を始めて既に10年近くなります。II期分については、2016年から始めていますが、それでも約6年経ってこの進捗状況です。そのため、事業を早めるためには、地元の協力を早く得られるかということにかかっていると思います。

我々も市の道路を整備する時、早く進めるためには、やはり地元や、沿道の方のご協力が一番だと思っていますので、引き続き沿道の方のご協力をいただき、早期に完成できるように、東京都に対しても働きかけをしてまいりたいと思っています。

本町田町内会

事業主としては東京都ですが、やはり東京都の方から地元の人たちに進捗状況というものを丁寧に説明していただきたいです。今の段階だと10年経っても何も連絡がないという話がありますので、是非とも都に言っていただいて、もう都に意見を言いたいという声もあるので、丁寧に議論を深めてもらいたいなと思います。今の間、私ども東京都さんと密に連携をとっていきたいと思いますので、今いただきました御所見を踏まえて、東京都に対しても全体的な説明を含めて、そういった声を拾っていただけるようにお伝え申し上げます。

道路部長

私どもも東京都と密に連携をとっておりますので、今いただきましたご意見を踏まえて、東京都に対して全体的な説明など、地域の声を拾っていただけるようにお伝えします。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

まずは新型コロナウイルスの関係ですが、本当に地域の皆さんが協力をしていただいたおかげで、第7波もだいぶ収まってきました。地域住民の協力がないとまず実現できません。ご協力していただいたことに感謝を申し上げます。引き続き新型コロナウイルス感染症対応をよろしくお願いいたします。

まず、病児保育施設です。南町田の駅前に3カ所目ができました。4月にできました。忠生に1カ所、原町田はお医者さんの先生の所に1カ所、そして南町田の駅前に1カ所で3カ所になりました。八王子市民も相模原市民も使うことができるように協定を締結しています。反対に、相模原市の病児保育施設を町田市民が使うこともできるという相互利用になっています。

次に児童相談所です。町田市内に設置をしてくださいということで、東京都福祉保健局にお願いをしている最中です。年内にはある程度方向が出るということで、私どもも期待をしています。現在の児童相談所は、町田市の家については、八王子から現場に必要なら来るということで八王子市の担当となっています。百数十万人を対象にして1カ所しかないのので、分割して町田だけに1つ新しい児童相談所をつくってくださいとお願いをしています。

先ほどもお話がありましたが、新たな学校づくりです。現在5地区で基本計画を策定中です。私の家の近く、鶴川団地では子どもが少なくなって、今は鶴川第二小学校と鶴川第四小学校の場所に学校を建替え、鶴川第三小学校の児童はそれぞれの近い学校に行くという計画を策定中です。あとは本町田東の場所に学校を建替え、町田第三と本町田と本町田東小学校を統合しようと計画しています。

南成瀬小学校と南第二小学校を統合し、南第二小学校の位置に集約します。もう1カ所は南第一小学校でここは統合する話ではなく、建物を建て替えるという計画を今進めています。2028年頃に計画が実現する予定です。その計画の後に、何年かすると次の地区の計画の話が出てきます。

中学校給食センターの整備です。3カ所今計画をしています。旧忠生第六小学校の跡地に1カ所。それから鶴川地域の金井にスポーツ広場がありますが、そこの横に1カ所。それから成瀬の下水処理場の横に公園、調整池がありますが、そこのところに1カ所。その3カ所とは別に、堺地域の堺中学校とそのさらに西側にある武蔵岡中学校の給食は、現在の大戸小学校の給食設備を作り直して対応します。

高齢者特別養護老人ホームの整備状況です。最近では100名定員や200名定員のような特別養護老人ホームは建設していません。現在2021年度の上半期では、約80%が申し込みから1年未満に入所しています。10年前だと約45%でしたので、整備してきた効果が出てきているなどと思います。

多摩都市モノレールは、町田第二地区の真ん中を通ります。先ほど公園の話がありましたが、あの公園のところに橋を架けています。あの橋に乗かって多摩都市モノレールが来ます。そして、市民病院の所でぶつかってあの交差点で左に曲がって旭町の中央公園の後ろ側を通り、町田高校のグラウンドの後ろを通って第二中のところに来るというルートでほぼ決まりました。用地買収は市民病院のところから行っていますが、町田市も少しその土地を買っています。町田高校に行く手前のところのセブンイレブンの向かいの駐車場は町田市が購入した土地です。

国際工芸美術館整備です。事業内容が3つあります。1つは工芸美術館整備の本体。それは2025年度末の開館を目標に進めています。2つ目は、町田荘という建物が昔あった土地を市が買ったことです。これも今から20数年前の話ですが、買った土地がずっと使われていなくて、そこに公園の案内をする建物と喫茶店と版画工房と、吹きガラスなどを体験できる体験棟を建設する計画です。2年後に着工を目指しています。3つ目は公園の中にエレベーターを作るという話です。これは2025年度にできる計画になっています。

最後に熱回収施設です。今年の1月に稼働が始まりました。資源ごみの処理施設を相原地区に建設する事業計画が決まりまして、2025年度の完成で進めています。横浜線の南側の地区は全部プラスチックの分別を行っていただいておりますが、横浜線の北側の地区で2025年度からプラスチックの分別が始まります。実施する範囲はまだわかりませんが、相原の施設に持っていきます。全ての地区で始まっていませんが、3分の1の地域は相原に資源ごみを持っていくという計画を進めております。

お願いになります。7月からリチウムイオン電池の分別をしていただくことになっています。通常の電池と同じように分けていただきます。分別がきちんとされないと火事が起きてしまいます。リチウムイオン電池の特徴として、衝撃が当たると火が出てしまいます。そのため、収集車の中で衝撃を受けて火が出て収集車が火事になってしまいます。

実は2月に清掃工場のピットの中でそれが原因と思われる火事が起こりまして、ピットが火事になりました。その火事の影響でクレーンなどが壊れてしまいました。折からの半導体不足で、なかなか部品が来なくて修理ができません。クレーンは無骨なイメージがありますが、かなりの精密機械です。掴んだ瞬間に重さを量ることができます。そのため、半導体がかなり使われています。その半導体がなかなか納品されません。

なかなか納品されずに困ったのは、町田駅の東急の近くにあるエスカレータ

です。あれが動かなかったのですが、それは輸入が止まって半導体が納品されないため修理できずに動かないということでした。そういうこともあるので、リチウムイオン電池の分別にご協力をいただきたいと思います。

配布資料で、事業別行政評価シートのダイジェスト版をお配りしています。その資料で1つだけ説明をいたします。小学校給食について掲載されています。11ページです。このページに円グラフがあります。その円グラフの下に四角い数字があり、給食調理1食当たりコストは597円と書かれています。これは原価です。これは利益が出ませんので、利益を載せて売るとなると800円か1,000円になってしまいます。しかし、実際に給食は作るのにそのくらいお金がかかっています。一番費用がかかるのは、アレルギーの対応です。アレルギーはかなり種類があります。全部ラインを分けて作っています。アレルギーを持っている子どもが食べてしまうと、アナフィラキシーショックを起こしてしまうので、調理員さんはそこに一番気を付けています。そこにすごくお金がかかっています。何でこんなにお金がかかるのかと言われたら、アレルギー対応の食事をするために、人件費がかかっていることが一番大きな理由です。あとは、食材の厳選を行っているため600円もかかっています。下の方に「保護者負担額は全額で平均1食246円を負担していただいております」と記載しています。いただいている学校給食費は、全体の所要額の42%、税金で残りを補填しているのが58%ということです。それにかかっている市の税金はページ一番上4番に「行政コスト計算書」と書いてあり、14億6,000万です。先ほどの58%です。1食は346円分税金を使っていますが、総額としては14億6,700万円が給食のお金にかかっているということになります。

今日は全て説明する時間はありませんが、その前のページでは保育料の収入は5%。保護者の方に支払っていただいている保育料は全体の5.5%です。あと、国や東京都のお金や市の税金で、実は保育所の運営がされているということがわかるようなものになっています。

《質疑》

中町中央町内会

学校統廃合のことです。うちの町内会館に来ていただいた時に市長から、小規模学校の先生が負担になっているので、学校統廃合して負担を減らしていきたいというお話がありました。私は小学校の教員を40年近く勤めてきましたが、実はそれは逆なのです。私は廃校になりました忠生6小や本町田西小を経験してまいりました。子どもたちが少ないということは、先生にとって負担感が少ないです。考えていただくと、子どものプリントの採点枚数は大規模になった方が、負担感がすごいです。小規模校で行事が大変だと皆さんおっしゃります。小規模校としてゆくのき学園もありますが、先生方もいきいきとしてい

ます。私も本町田西小で全校読み聞かせ運動を行いました。小規模校の方が教師の負担感は少ないです。私は今まで少子化や学校が古くなって老朽化とかという理由で統廃合かと思っていました。先生の負担感が強いから統廃合というのは違うと思います。学校統廃合はできれば、私の地域ではありませんが、やはり防災の視点で、とにかく学校を少なくすることは、自分は違うかなと思うので、是非学校は残していただきたいなと思っております。

市民部市民協働推進担当部長

本日は教育委員会が出席していないので、会長のお話はそちらにお伝えします。

中町中央町内会

先ほど市長のお話の中に、モノレールの話がありました。モノレールのルートが決まりましたが、町田は重工地域が少ないので工場誘致ができません。調整区域がたくさんあると思いますので、是非今度の区域変更の時に重工地域をたくさん作っていただければ、法人が多く来ると思いますので、是非お願いしたいと思います。

町田市長

都市計画の変更のお話はまだまだこれからですが、お話は伺いをいたしました。

○閉会の挨拶

町田第二地区町内会・自治会連合会 副会長